

第5回事業棚卸結果表

【Aグループ】

事業名	概要	論点	結果	意見(提言)
成果還元活動費補助金事業	文化教室等で身につけた学習知識や技術を、地域に還元するため発表展示等をする団体への活動補助	・目的と成果の相違 ・補助要件は適正か ・類似事業との関連	改善を行うこと	(改)活動実績が15団体と少ない。補助交付要件の見直しを検討すること (改)成果還元を主旨とするのであれば活動実績が少ない。新規加入を促すほどの影響力になっておらず、ニーズ把握を検討すること (改)活動の広がりや身に付けられた知識・技能を町として蓄積し活用する仕組みづくりを検討すること (改)「町文化団体協議会補助金事業」との関連性を再考すること
町文化団体協議会補助金事業	中央公民館での年間展示活動、町美術展、公民館まつりの出品及び運営協力を促進するため、町文化団体連絡協議会の活動への補助	・審査は適正か ・類似事業統合の可能性	改善を行うこと	(改)文化教室等、団体加入していない方々への発信を実施すること (改)補助金の使途について、指導・監督を行うこと (改)加入団体の増加に努め、「成果還元活動費補助金事業」との統合を検討すること
民芸実習館事業	木工、陶芸等の製作の場となる民芸実習館の活用と維持管理	・事業の周知について ・利用料の徴収は適正か	改善を行うこと	(改)学校教育に活用するなど、実習館の認知・必要性を理解していただくよう努めること (改)利用者が限定されすぎずおり、利用料を徴取してもよいのではないか (改)幅広く事業の広報を行うこと
北栄ゆら由良川くだり実行委員会補助金事業	ゆら由良川下り実行委員会への活動補助	・目的と現状の相違 ・事業の必要性	廃止を検討すること	(廃)夏休みの素晴らしいイベントであるが、現状の参加状況は目的である青少年育成にほど遠い。一旦廃止し、新しく「由良川」を活用したイベントの発案を検討されたい (廃)現状では親の協力が不可欠であり参加が難しくなっている。大がかりな製作物を要するイベントは参加しにくいと思われる
図書館管理事業(運営、ブックスタート、関係負担金事業含む)	図書システム管理 土曜講座、図書館まつりの開催 乳児と保護者に絵本の読み聞かせを実施	・周知の方法	継続	(継)広報誌の活用を図り、幅広い層への情報提供に努めること (継)引き続き町民の集う企画を行い、町民の憩いの場となるよう取り組んでいただきたい

【Bグループ】

事業名	概要	論点	結果	意見(提言)
農地流動化推進事業助成金事業	農地の利用集積を行った農家に補助金を交付	・認定農業者増加への取組 ・補助額は適正か	継続	(継) 認定農業者を増加させるため広報・分析を産業振興課と連携してすすめること (継) 補助額は取引額と連動するよう検討すること
地域改善対策負担軽減事業	土地改良整備費の地元負担金及び経常賦課金について、東亀谷自治会の受益農家への補助	・事業の有効性 ・いつまで続けるのか	改善を行うこと	(改) 条件を整理し、今後の補助のあり方を検討すること (改) 事業の適否を早急に検討すること (改) 農地として利用されているかの把握に努めること (改) 経常賦課金は期限を設け、特別賦課金についても平成38年度までではなく再検討すること
土地改良区地元負担軽減補助金事業	土地改良事業で実施した町道整備事業費の償還及び事務費補助	・事業のあり方 ・成果の適正な把握	改善を行うこと	(改) 4改良区の統合を検討すること。できないのであればその分の補助金をカットすること。 (改) 農家負担軽減という視点において、補助だけではない部分について改良区への提案も検討すること (改) この事業の成果はインフラ整備の実績ではない。具体的な生産性の向上(作業日数の削減、収穫量の向上等)を把握すること
しっかり守る農林基盤整備事業	国の補助事業にならない小規模な農林業生産基盤整備補修に要する経費を補助	・町としての事業の方向性	改善を行うこと	(改) 予算の執行が大まかである。基本的な線を引き、改善すべき点を絞ること (継) 町としても調査を行い計画的に実施していくこと
監査委員事業	地方自治法に基づいて設置している監査委員への報酬及び研修費用	・共同設置は可能か ・事務局事務の軽減は可能か	改善を行うこと	(改) 人件費(事務割合)の削減について検討すること (改) 町のビジョンの実現に対する監査についても実施の検討をすること (広) 中部での共同設置について再考すること (継) 実施回数の見直し、監査技術の向上に努められたい